自動車用動力伝達技術研究組合（TRAMI）

2024年度 「動力伝達の未来を支える基盤技術に対する研究」の公募

**基盤技術に新風を吹き込む多岐にわたるチャレンジングな研究も応援します**

【TRAMIについて】

自動車用動力伝達技術研究組合（TRAMI：Transmission Research Association for Mobility Innovation）は、技術研究組合法に基づき2018 年４月２日に設立されました（<https://trami.or.jp>）。

組合では動力伝達技術の範疇をトランスミッションや減速機から，電動化に関わる領域にまで拡張し，産学連携による基盤研究を通じて以下のように目指す姿を規定しています．

１．学のサイエンス進展

２．産学交流を通じた人材育成

３．日本の産業力の底上げと持続的な科学技術の発展に貢献

【助成の目的】

上記のようにTRAMIにおいては研究の重点を電動化に関わる領域にまで拡げ，駆動モータも含む動力伝達技術に関する学問的進化，技術開発の革新，産学における人材のポテンシャルの向上を目指しています．中でも本研究公募は，学の関連分野における若手研究人材に着目し，研究助成を通じて産学連携の下地作りを目指すものです．

自動車の駆動技術においては，電動技術が大きな話題／課題の一つとなっています．駆動モータは変減速機と一体化する傾向にもあり，それらの協調運転の技術も視野に入ります．20年後，50年後の世界は混沌としていて，原動機（Prime Mover）も多様化し，動力伝達系（Transmission）との境なくシステムとして機能しているに違いありません．確実なことは，効率が限りなく100％に近い（無駄なエネルギ消費をしない）自動車駆動技術の深化が必定であるということです．

そのためには，系を構成する各種要素について種々の技術要素の地道な研究が重要であるとともに，発想を新たにする基礎的・基盤的研究にも高い期待があります．例えば，小形高性能を追求するときの原動機の高速化に耐える各種要素の進化には，冷却や潤滑方法の開拓といったことも鍵を握っていることの一つと思われます．

　以上を踏まえて，本公募では駆動モータを含む駆動系において，駆動系技術の進化と革新を期待しつつ，大学高専等の高等教育機関における関連技術の教育・研究活動の充実を願い、以下のような項目に深くかかわる研究を支援します．なおキーワードのみが重要なのではなく，新たな発想に基づく研究提案も歓迎します．研究を支援すると同時に，動力伝達系に関わる研究者と技術者のコミュニティを醸成して，本技術領域の社会貢献を価値あるものにしたいと考えます．

|  |  |
| --- | --- |
| **1. 研究の対象** | 動力伝達技術（駆動モータを含む）における  １．機械の要素 例えば  ・摩擦伝動、　かみ合い伝動、　高減速比あるいは高速回転における動的挙動  ・装置の残存寿命評価  ・締結要素技術  ・表面処理・改質・評価技術  ・高効率化技術  ・機械材料技術  ２．トライボロジー 例えば  ・摺動面の潤滑技術（たとえば高速領域、極限領域）  ・気泡を含むオイルによる潤滑挙動  ・潤滑のその場観察、測定技術  ・フレッティングのメカニズム  ・熱・流体技術  ３．音・振動 例えば  ・静粛性向上のための振動・騒音低減技術  ・乗り心地改善・評価のための音・振動計測・予測技術  ・低騒音・低振動実現のための解析・設計技術 |
| **2. 応募者の資格** | 応募者は博士の学位を有し、かつ教授、准教授、講師、助教および日本学術振興会特別研究員ならびにこれらに準ずる者であって、次の所属機関において常勤する研究者とします。  （但し、2024年4月1日現在50歳未満の者）   1. 大学（附置研究所を含む） 2. 高等専門学校 3. その他TRAMIが認め，その設立理念に賛同いただける研究機関 |
| **3. 研究費** | 1件あたり **１年間最大150万円**とします。  （上記の金額は、間接経費を含み消費税は含みません）  研究費は、委託研究契約の締結後に支給します。 |
| **4. 研究の期間** | 2024年4月1日～2026年3月末までの原則２年間とします。なお委託研究契約書及び研究費の支給は単年度ごとに行います。  １年目年度末の研究成果中間報告により2年目の研究継続を判断します。 |
| **5. 申請書等の**  **提出方法**  **及び提出期限** | 1. 2024年度「動力伝達の未来を支える基盤技術に対する研究」の公募　応募申請書（WEB：https://trami.or.jpよりダウンロードしてください） 2. 最近約5ヶ年間に申請者が行った研究に関する公表物のうち、研究姿勢の特質を表す主要な論文や解説、前刷り，成果報告概要等（計３編以内） 3. １. の申請書および２．の論文等を一続きのPDFファイルとしてe-mailにて[sangaku-koubo@trami.or.jp](mailto:sangaku-koubo@trami.or.jp)宛に送付してください。なお、e-mailアドレスのドメインは所属機関に限ります。   2023年１０月３１日（火）正午（日本時間）必着 |
| **6. 審査** | 動力伝達分野における研究に対する意欲と研究の魅力、将来性、有用性および期待される成果の観点から審査します。 |
| **7. 選考** | 1. 有識者による審査委員会が審査･選考し、2024年２月末までにその採否を申請者に通知します。 2. 2024年度分の採択数は６件程度を予定しています。 |
| **8. 採択の伝達** | 1. 採択された申請に対して，研究テーマ採択伝達式を2024年 3月に行う予定です。旅費はTRAMIが負担します。補足 |
| **9. TRAMIから**  **の技術支援** | 1．採択された研究を遂行するため、実験装置の製作、研究結果に対する議論等について、必要に応じTRAMI研究委員会に協力を要請することができます。また、TRAMIが保有する機材、設備について活用できる場合があります。 |
| **10. 報告** | 1. 1年目は2025年３月に口頭発表による研究成果中間報告を行い、2年目の研究継続を判断します。その際に、１年目の研究完了報告書（簡単な会計報告と研究概要）を同年３月末日まで提出していただきます。 2. ２年目は2026年３月に研究成果報告会で口頭発表による最終報告を行います。その際には、2年目の研究完了報告書を同年3月末日までに，研究成果報告書を同年4月末日までに提出していただきます。 3. 研究成果はTRAMIホームページなどで公表されます。 |
| **11. 申請書の**  **作成あたっての**  **注意事項** | 1. 申請に当たっては、TRAMI所定の形式の申請書を使用してください。JSPS科研費の申請に使用する研究者番号の記入が必要です。JSPS科研費の申請書により代用することもできます。この場合、研究分担者は除いてください。また、2024年度「動力伝達の未来を支える基盤技術に対する研究」の公募　応募申請書の1ページ目を表紙として付けてください。 2. 論文博士の場合は学歴欄の「期間」を「取得年月」に読み替えて、大学名を記入してください。 3. ホームページを開設されている申請者はホームページURL欄にご記入ください。 4. 申請書の内容は外部に公開しませんが、研究題名・申請者名は研究テーマ採択時に公表することがあります。知的財産権等に関わって、申請用研究題名を公表できない場合、申請用の研究題名の他に、公表用の研究題名を申請書の特記事項に記載してください。 5. 申請書の各項目の文章はフォント明朝10.5ptを用い、簡潔・明瞭な図表も含め、各ページの枠内に記述してください。その際、上下左右マージン、行間にも留意願います． |
| **12. その他** | １．TRAMIが示す委託研究契約書（別途提示）に基づき契約を締結して頂きます。契約は、単年度単位とします。  ２．研究費の支給（研究計画書の請求額）は、TRAMIと研究者の所属機関との間で契約締結後単年度ごとに前払いで行い、2年目の支給は、1年目年度末の研究成果中間報告により研究継続が決定した後、2年目の契約締結後に行います。  ３．本研究費を受けた研究に基づき得られた知的財産権の帰属は、発明者主義を基本とします。研究者の知的財産権は、所属する機関の取り決めに従い、取得してください。その場合は申請したことをTRAMIに連絡してください。  ４．本研究費を受けた研究を学会等で発表する際には、TRAMIとの委託研究に基づく成果であることを明示してください．  ５．応募に当たって、個人情報はTRAMI個人情報取扱規程に基づき、その保護に努めます。また、提出書類は返却されません。予めご承知おきください。  ６．不明な点があれば、TRAMI WEBよりお問い合わせください。  自動車用動力伝達技術研究組合（https://trami.or.jp）  〒105-0022　東京都港区海岸1丁目9-11 マリンクスタワー8F |